

テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち ITS ワールド 2019



実施報告書

お礼のことば

愛知県では、車社会が抱える課題を解決するとともに、自動車産業の更なる発展を目指し、産・学・行政が一体となってITSの推進を図っていくため、「愛知県ITS推進協議会」を、平成10年に全国に先駆けて設立し、ITSの普及・実用化に向けて取り組んできました。

平成16年には「ITS世界会議愛知・名古屋」が開催され、この地域におけるITSの導入促進への大きな契機となり、また、平成17年には「愛・地球博」が開催され、会場へのアクセスにおいてITSが活用されるなど、ITSの理解を深める絶好の機会となりました。

こうした世界会議や愛・地球博における成果と理念を継承し、ITSの理解をより深めていただくため、愛知県ITS推進協議会及び中部経済新聞社は、平成17年より「あいちITSワールド」を名古屋モーターショーと連携して開催してまいりました。

8回目となる「あいちITSワールド2019」は、講演会や学生の研究発表、企業や大学等による最新のITS技術などの展示、自動運転バスの試乗会、衝突被害軽減ブレーキを体験できる試乗会やスタンプラリーなど、社会人から学生、さらには子供までの幅広い層の方々に楽しんでいただける内容で実施し、会期中の来場者は延べ18万3,250人に上り、多くの方にITSを知っていただく機会となりました。

この度、今回の開催結果をとりまとめた実施報告書を作成いたしましたので、御覧いただければと存じます。

開催にあたり、特別協力をいただきました特定非営利活動法人ITS Japan、後援をいただきました一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人自動車技術会、そして試乗会、講演会の実施や展示などに御協力をいただきました関係者の皆様におかれましては、改めてお礼申し上げます。

最後に、今後もこの地域のITSの進化・普及に、御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

愛知県ITS推進協議会

中部経済新聞社

目 次

1. 開催概要等	3
2. 合同開場式	4
3. 愛知県 I T S 推進協議会会長（愛知県知事）の会場視察	5
4. 講演会	6
5. 学生の研究発表	7
6. 展示内容	9
(1) 企業・行政出展ブース	11
(2) 大学ブース	15
7. 参加体験企画	
(1) 自動運転バス試乗会	18
(2) 超小型モビリティ試乗会	19
(3) セーフティドライブ同乗試乗会	20
(4) 駐車支援システム体験試乗会	21
(5) スタンプラリー	22
8. 参考資料	
(1) 印刷物	23
(2) 新聞記事	28

1. 開催概要等

- 名称：あいちITSワールド2019
～テクノロジーが変えるモビリティ。もっと安全・安心・快適に～
- 日程：令和元年11月21日（木）～11月24日（日）
9：00～18：00
※第21回名古屋モーターショーと同時開催
- 場所：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）第1展示館（下図参照）
- 主催：愛知県ITS推進協議会、中部経済新聞社
- 特別協力：特定非営利活動法人ITS Japan
- 後援：一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人自動車技術会
- 企画内容
 - ・講演会
 - ・学生の研究発表 「あいち発！ITS学生研究ライブ2019」
 - ・展示
 - ・参加体験企画
自動運転バス試乗会、超小型モビリティ試乗会、セーフティドライブ同乗試乗会、
駐車支援システム体験試乗会、スタンプラリー

○会場位置



○期間中の天気・気温・来場者数

区分	11月21日 (木)	11月22日 (金)	11月23日 (土)	11月24日 (日)	
天気	晴	曇のち雨	晴	曇	-
気温	15.9	12.4	21.6	20.8	-
来場者数	21,183人	26,691人	65,745人	69,638人	計 183,257人

2. 合同開場式

○日 時：11月21日（木） 8：30～9：00

○場 所：交流センター エントランス

【次第】

(1) 主催者・来賓紹介

・主催者

中部経済新聞社	代表取締役社長	恒成 秀洋
東海ラジオ放送	代表取締役社長	小畑 耕一
中日新聞社	常務取締役	井戸 義郎
中日スポーツ	総局長	末次 秀行
東海テレビ放送	専務取締役	春田 亮介
愛知県 I T S 推進協議会	会長（愛知県知事）	大村 秀章

・来賓（敬称略）

名古屋市長		河村 たかし
警察庁中部管区警察局	局長	和田 昭夫
総務省東海総合通信局	局長	吉武 久
経済産業省中部経済産業局	局長	高橋 淳
国土交通省中部地方整備局長	局長	勢田 昌功
国土交通省中部運輸局	局長	坪井 史憲
ITS Japan	専務理事	天野 肇

(2) 主催者あいさつ

第21回名古屋モーターショー 中部経済新聞社 代表取締役社長 恒成 秀洋
あいちITSワールド2019 愛知県 I T S 推進協議会 会長 大村 秀章（愛知県知事）

(3) 来賓あいさつ 名古屋市長 河村たかし

(4) 出展メーカーコンパニオン紹介

(5) アンバサダー挨拶 SKE48松井珠理奈

(6) テープカット



3. 愛知県ITS推進協議会会長（愛知県知事）の会場視察

○11月21日（木） 9：00～10：30

【名古屋モーターショー】

- ①トヨタ自動車（株）
- ②レクサス
- ③工業高校エコカー
- ④職業体験コーナー
- ⑤パーソナルモビリティ

【ITSワールド】

- ⑥愛知県ITS推進協議会
- ⑦トヨタ自動車（株）
- ⑧(株)デンソー
- ⑨インターネットITS協議会
- ⑩自動運転バス試乗会



4. 講演会

- タイトル: 「自動車の自動運転への取り組み」
- 講師: 国立大学法人 群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長 小木津 武樹 氏
- 日時: 11月21日 (木) 11:00~12:00
- 場所: 交流センター 3階 会議ホール
- 定員: 250名
- 応募者: 181名
- 参加者: 167名

【講師紹介】



小木津 武樹 (おぎつ たけき) 氏

1985年8月7日生まれ。慶應義塾大学環境情報学部に入學後、同大学大学院政策・メディア研究科にて修士課程、後期博士課程を修了。博士(学術)。2014年4月から2016年1月まで東京理科大学理工学部機械工学科助教。同年2月から2017年7月まで群馬大学大学院理工学府助教。2016年12月から現在まで同大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長、2017年8月から同大学大学院理工学府准教授。2004年から一貫して自動車の自動運転に関する研究活動を推進。自動運転の実証実験や実車デモの経験が多数ある。



5. 学生の研究発表

- タイトル: 「あいち発! ITS学生研究ライブ2019」
- 参加者: 愛知県内の大学研究室、愛知県ITS推進協議会 ITS大学セミナーグループ
- 日 時: 11月21日(木) 13:00~14:30
- 場 所: 第1展示館 特設ステージ
- 定 員: 200名
- 応募者: 132名
- 参加者: 121名

ITS大学セミナーグループの企画により、「あいちITSワールド2019」の大学ブースに出展している大学研究室の協力を得て実施しました。

ステージで発表する学生と同グループメンバーとが意見交換等を行う「第一部 意見交換編」と、ステージで出展内容の発表や質疑応答を行う「第二部 ステージ編」の二部構成で実施しました。

今回の「第二部 ステージ編」では、新たな試みとして、愛知県立大学小栗・河中研究室のご協力により、学生による司会進行を行いました。

【発表者及びタイトル】

1. 愛知工業大学 大学院 工学研究科 機械工学専攻 修士1年 佐野 友哉さん
「愛知工業大学 機械学科における自動車の教育と研究」
2. 名城大学 理工学部 情報工学科 4年 福原 知也さん
「IoT技術を活用したバスロケーションシステム」
3. 愛知県立大学 大学院 情報科学研究科 メディア情報専攻 修士1年 大溪 紘平さん
「シートベルトバックルによるドライバモニタリング」
4. 名古屋大学 大学院 情報学研究科 知能システム学専攻 博士後期課程1年 榮井 優介さん
「自動運転車両のセンサを活用したユーザ-車両間のインタラクションデザイン」
5. 大同大学 大学院 情報学研究科 情報学専攻 修士1年 田中 義弘さん
「ドライバの運転行動の分析と安全性評価」
6. 名古屋工業大学 大学院 工学研究科 情報工学専攻 修士2年 井上 景介さん
「光の投光による危険の見える化」
7. 名城大学 大学院 理工学研究科 情報工学専攻 修士1年 国保 泰久さん
「磁気刺激による居眠り運転防止技術」
8. 愛知工科大学 工学部 電子制御・ロボット工学科 4年 峯崎 大志さん
「VRを用いた道路横断タスクによる視覚的認知機能の評価の試み」
9. 名城大学 大学院 理工学研究科 情報工学専攻 修士2年 村山 貴彦さん
「歩きスマホを抑止するシステムに関する研究」

【ITS大学セミナーグループ 参加者】

所属名	氏名
早稲田大学環境総合研究センター 参事・招聘研究員	石 太郎
アイシン精機株式会社 電子商品本部 第一電子技術部 IC設計・解析センター 第4チーム チームリーダー	木佐貫 豊
株式会社デンソー モビリティシステム企画部 技術企画室 担当課長	加藤 大誠
NPO法人ITSプラットフォーム21 アドバイザー	西村 良博
愛知工科大学 名誉教授	小塚 一宏

【司会者】

所属名	氏名
愛知県立大学大学院 情報科学研究科修士2年 小栗・河中研究室	本井 みくにさん
愛知県立大学情報科学部3年 小栗・河中研究室	河口 直暉さん



6. 展示内容

企業等によるITSの展示のほか、愛知県内の大学が取り組んでいるITSに関する研究等を紹介しました。

○出展者一覧（17企業・団体、12大学）

企業・行政ブース	
A1	愛知県ITS推進協議会
A2	NTPシステム(株)/NTPセブンス
A3	(特非)ITS Japan
A4	(一財)道路交通情報通信システムセンター（VICSSセンター）
A5	(独)自動車事故対策機構/国土交通省中部運輸局
A6	(一社)日本自動車連盟
A7	トヨタ自動車(株)
A8	あいおいニッセイ同和損害保険(株)
A9	中日本高速道路(株)
A10	名古屋高速道路公社
A11	国土交通省中部地方整備局
A12	総務省東海総合通信局/東海情報通信懇談会
A13	(株)TCL
A14	インターネットITS協議会
	(株)IIC
	(株)総合物流
	(一社)日本ドローン協会
	(株)アルファ・デポ
	ユーテック(株)
	イービー愛知(株)
	萩原エレクトロニクス(株)
	アイサンテクノロジー(株)
	(株)マックスシステムズ
	ナカヤクリエイテブ(株)
	沖電気工業(株)
	損害保険ジャパン日本興亜(株)
	(株)PALTEK
A15	(株)デンソー
A16	(一社)UTMS協会
A17	愛知県防災安全局県民安全課

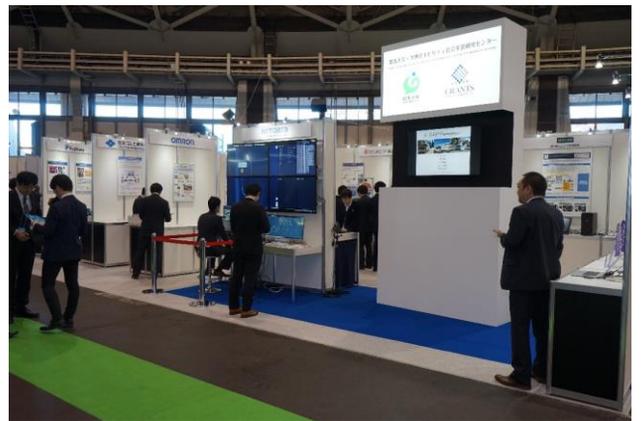
大学ブース	
B1	名城大学
B2	大同大学 宮島研究室
B3	愛知工業大学 ロボット研究ミュージアム
B4	中部大学 工学部 ロボット理工学科 平田研究室
B5	群馬大学
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)
	愛知製鋼(株)
	(株)アークハラ
	(株)エヌ・ティ・ティ・データ
	オムロンソーシアルソリューションズ(株)
	新明和工業(株)
	住友ゴム工業(株)
	総合警備保障(株)
	大和自動車交通(株)
	名古屋鉄道(株)
バイオニア(株)	
(株)フジクラ	
(株)両毛システムズ	
群馬大学	
B6	愛知県立大学 情報科学共同研究所
B7	名古屋工業大学 佐藤・坂上研究室
B8	豊田工業大学
B9	名古屋大学 大学院情報学研究科 武田研究室
B10	愛知工業大学 HAVRECチーム
B11	愛知工業大学 谷本研究室
B12	愛知工科大学 ITS研究所

○ブース等配置図（番号は上記出展者と対応）



○会場写真

ITSワールドのエリアが明確になるよう、ITSワールド入口にゲート、名古屋モーターショーとの境界にスイングバナーを設置しました。また、ITSワールド内の通路にカーペットを敷き、ブースの動線を来場者にわかりやすく明示しました。



(1) 企業・行政出展ブース

A 1. 愛知県ITS推進協議会

【運転支援技術を体験できるVRシミュレーター】

交通事故の防止や自動運転に関する愛知県の取り組みを紹介。またVRシミュレーターにより、衝突被害軽減ブレーキなどの運転支援技術も体験可能。

(協力：(株)アイロック)



A 2. NT Pシステム(株)/(株)NTセブンス

【販売店業務の効率化をサポート】

スマホを使った社用車管理システム「DriveReport」や次世代鍵管理「KEYPerSystem」などのNT Pグループ商品とNTセブンスが運営するドローンスクールを案内する。



A 3. (特非) ITS Japan

【持続可能な移動サービスの実現へ】

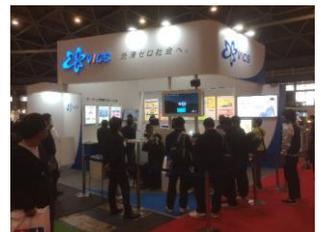
交通社会の課題解決に向けて産官学・国際連携で取り組んでいるITS Japan。会場では多様な地域に対応した持続可能な統合的移動サービスの実現に向けた活動を紹介する。



A 4. (一財) 道路交通情報通信システムセンター (VIC Sセンター)

【VRスコープでVIC Sのメリットを体感】

道路交通情報をカーナビに提供するVIC Sセンターが目指しているのは渋滞ゼロ社会。会場では最新VIC S対応カーナビの展示や近々利用できる新しいサービスなどを紹介する。



A 5. (独) 自動車事故対策機構/国土交通省中部運輸局

【NCAPに使われた衝突試験車両を展示】

自動車やチャイルドシートの安全性能を評価・公表する自動車アセスメント(NCAP: New Car Assessment Program) で用いた衝突車両を展示。安全な自動車等の普及促進を図る。



A 6. (一社) 日本自動車連盟

【模擬衝突体験でシートベルトの重要性を再確認】

臨場感のあるVR映像や実際の時速5km衝突体験を通してシートベルトの重要性を啓発する。反射材効果体験やレッカー車展示のほか、子ども安全免許証の発行コーナーを設ける。



A 7. トヨタ自動車(株)

【先進の安全システム「ITS Connect」をジオラマや実写映像で紹介】

交差点での右折時や緊急車両の接近時などで、道路とクルマ、クルマとクルマが通信し安全運転支援をするITS Connectのうれしさを紹介する。



A 8.あいおいニッセイ同和損害保険(株)

【テレマティクスを活用した保険の未来】

テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、より安全・安心なカーライフをどのように実現していくか、テレマティクス技術を活用した事故対応サービスなどで紹介する。



A 9.中日本高速道路(株)

【ICT・AIを活用した道路管理高度化の取り組み】

安全・安心・快適な高速道路空間を提供するため、先端技術を活用した逆走対策や、旅行時間・渋滞予測精度向上の取り組み、自動運転や隊列走行の実現に向けた取り組みを紹介する。



A 10.名古屋高速道路公社

【安全・安心・快適な道路サービスを目指す取り組み】

名古屋高速道路全線で運用を開始するETC2.0サービスへの取り組みや、構造物の長寿命化に向けた大規模修繕の取り組みなどを紹介。働く車(道路パトロールカー)も展示する。



A 11.国土交通省中部地方整備局

【ETC2.0、情報サービスの基盤へ】

ETCの進化版であるETC2.0による渋滞回避支援や安全運転支援、高速道路外への一時退出を可能とする「賢い料金」など新しいサービスをわかりやすく紹介する。



A 12.総務省東海総合通信局/東海情報通信懇談会

【5Gで広がるモビリティ社会】

自動運転を支える移動通信システムや周波数の有効利用技術をパネル展示するほか、5Gを使ったトラック隊列走行など自律型モビリティシステムへの応用を動画で紹介する。



A 13.(株)TCL

【ドライブレコーダー「Smart Reco」バッテリーチャージャー「CTEK」】

当て逃げや車上狙いを記録する駐車監視機能、あおり運転対策になる後方カメラが付いた最新ドライブレコーダーと、多くの輸入車ブランドに純正採用されている高性能バッテリーチャージャー「CTEK」を展示。



A14.インターネットITS協議会

○(株)IIC

インターネットITS協議会からの提言を社会実装する活動を通じ、企業間連携・新事業創出を推進する。

○(株)複合物流

トラックの隊列・自動走行時代を踏まえ、産業の大動脈である基幹物流を根本的に解決する物流新幹線計画を推進する。

○(一社)日本ドローン協会

産業・防災・教育など活躍の場が広がるドローンを安全かつ有意義に利用するための支援活動を提案する。

○(株)アルファ・デポ

3カメラドラレコ連動バックモニター、360度全方位ドラレコ、4ch車載デジタルレコーダーなどを展示する。

○ユーデック(株)

自動運転を基盤とした新しい街づくりのモデルとして沖縄県北谷町の実証実験を紹介する。

○イービー愛知(株)

次世代ITS・Maasを通じ、来る自動運転社会に貢献。遠隔監視、次世代ドライビングシミュレータにも取り組む。

○萩原エレクトロニクス(株)

ADASや自動運転システムの開発・評価向けに必要な走行データを収集する実験車両を展示する。

○アイサンテクノロジー(株)

自動運転に向けた高精度3次元地図、自動運転車両展示、自動運転システムを紹介する。

○(株)マックスシステムズ

研究・開発用ドライブシミュレータ「SCANeR studio」。自動運転、HMI開発、遠隔監視技術の評価に活用できる。

○ナカシャクリエイテブ(株)

「目で見て判断する」の機械化、車両やドローンで撮影した映像から確認したい物体を自動検知し位置情報と共にDB化する取り組みを紹介。

○沖電気工業(株)

5Gを見据え移動や固定など様々な環境での自由視点映像モニタリング「フライングビュー」を展示する。

○損害保険ジャパン日本興亜(株)

自動運転サービス実証を支えるインシュアテックソリューションの共同開発およびその内容を紹介する。

○(株)PALTEK

自動運転・EV開発用ハードウェアエミュレータ「白虎」の特徴（高速・小型など）をモニターなどで紹介する。



A 1 5. (株)デンソー

【未来のモビリティ社会を支えるコネクティッド技術】

クルマがクラウドとつながることで、クルマとさまざまなサービスをつなげる仕組みの提供に取り組んでいるデンソー。同社が思い描く、未来の“つながるモビリティ”の一例を紹介する。



A 1 6. (一社) UTMS協会

【安全で安心な交通環境を提供する次世代ITS技術を紹介】

路側装置と携帯端末間で双方向通信を行い、歩行者用信号の情報提供等を行うPICSや進行先の信号情報提供による安全運転支援を行うTSPSなど安全・安心に配慮したシステムをパネルや映像で紹介する。



A 1 7. 愛知県防災安全局県民安全課

【交通安全疑似体験コーナー】

飲酒体験ゴーグルを使ったダーツゲームと、ながらスマホが原因で交通事故が起きるまでをVR機器で疑似体験できるブースを設置する。



(2) 大学ブース

B 1.名城大学 鈴木研究室・山田(宗)研究室・山崎研究室・松本研究室

【IoTバスロケ開発、災害時情報配信システムなど】

- ながら歩行における周辺視認性計測シミュレータ
- 高齢者の自転車運動能力を評価する自転車シミュレータ
- 推奨走行情報の提供で円滑な交差点通過を図るシステム



B 2.大同大学 宮島研究室

【運転行動情報処理の研究】

深層学習による車種認識、カーブ運転行動の分析、ドライバーの視行動の安全性評価それぞれの研究を紹介するほか、スタッドレスタイヤ自動判別研究に関するポスターを展示。



B 3.愛知工業大学 ロボット研究ミュージアム

【地域社会貢献を目指すロボット】

- AIT鉄人プロジェクト・古橋研究室 ○内田研究室・海洋ロボットプロジェクト
- レスキューロボット研究会 ○ロボットアート・からくりプロジェクト
- COBOTTAプロジェクト



B 4.中部大学 工学部ロボット理工学科 平田研究室

【瞳孔・眼球運動に関する研究】

- スマホで眼球運動を計測・評価する技術
- VRを利用した「歩きスマホ」が動体視力に与える影響の評価
- 過重力で運動習得能力が向上する「ドラゴンボール効果」の検証



B 5.群馬大学

○あいおいニッセイ同和損害保険(株)

無人自動運転車の導入が期待される「地域の移動サービス事業」の実現を見据え、事故対応など保険のあり方を研究。

○愛知製鋼(株)

独自の超高感度磁気センサー技術を活用した自動運転支援のための磁気マーカーシステムを展示する。

○(株)アークノハラ

標識や道路安全施設等の製造・施工に携わる技術と知見をいかし自動運転車の接近を周囲に知らせる装置を開発。

○(株)エヌ・ティ・ティ・データ

オンデマンド移動サービスの実証実験などを通し、地域住民のニーズに応じた新しい移動サービスの提供を目指す。

○オムロンソーシアルソリューションズ(株)

信号交差点において自動運転車の安全かつ円滑な運行の実現に向けた、信号機と連動した走行実験を実施した。



○新明和工業(株)

自動運転車と協調しながら安全かつ高精度な自動入庫を可能とする機械式駐車設備の研究に取り組む。

○住友ゴム工業(株)

タイヤの空気圧や温度を監視するセンシング技術を活用し、自動運転対応のタイヤ関連サービスの構築を目指す。

○総合警備保障(株)

24時間/365日、安全安心を提供するALSOKによる自動運転車両向けの安心ソリューションを紹介する。

○大和自動車交通(株)

旅客運送事業者として自動運転時代を見据えた新たなビジネスモデルの構築に取り組み、業界の発展を目指す。

○名古屋鉄道(株)

群馬大学の技術協力を得て2019年4月に愛知県では初となる公道での自動運転バス実証実験を実施した。

○パイオニア(株)

センシングを核としてソリューションを提供する企業として3D-LiDARをバスに提供し、実証実験に取り組む。

○(株)フジクラ

より安全なバスの運行を実現するために乗客の姿勢をセンシングするシステムの開発を行う。

○(株)両毛システムズ

自動運転を実現するために求められるシミュレーター(HILS)、AI・機械学習環境の構築・運用の実例を紹介。

○群馬大学

完全自動運転の技術開発およびその社会実装に向けた研究を実施。バスや乗用車による地域実証実験に取り組む。

B 6.愛知県立大学 情報科学共同研究所

【シミュレータで運転能力を評価】

実映像型ドライブシミュレータを用いて運転中の視線計測から歩行者や交差点などの危険要因を注視できているかどうかを評価し、適切なアドバイスを行う。



B 7.名古屋工業大学 佐藤・坂上研究室

【ドライバー支援技術を実演】

カメラ・プロジェクター・ディスプレイを用いた最新コンピュータービジョン技術に基づくドライバー支援技術を実演。特殊な光を投影して速度や距離を計測、可視化する技術の紹介。



B 8.豊田工業大学

【未来のスマートビークル社会を見据えて】

安全運転支援および完全自動走行(レベル5)の実現に向けた基幹技術を紹介。外界認識、運転制御の知能化、EV駆動モーター、形状の設計と最適化、加工技術などを紹介する。



B 9.名古屋大学 大学院情報学研究科 武田研究室

【信号処理理論に立脚した自動運転研究】

データ収集や自動運転の研究に用いている実験車両を展示。人と車両のインタラクション、車両内インフォテインメントや車両制御など自動運転研究の取り組みを紹介する。



B 10.愛知工業大学 HAVRec チーム

【人に優しい遠隔運転要素技術】

完全自動運転を補完するための遠隔運転に必要なとなる要素技術を開発

- 遠隔運転コクピット・認知支援技術
- 遠隔運転車両・運転支援技術
- 遠隔運転通信セキュリティ技術



B 11.愛知工業大学 谷本研究室

【創造力を育む授業で製作した作品】

- ワゴンR 運搬車+RV化
- エコラン参戦車両
- コンバートEVミゼットII
- レストアオートバイ
- FJ1600 水平対向4気筒エンジン
- FF-4AT 変速機カットモデル
- 蒸気機関車模型



B 12.愛知工科大学 ITS 研究所

【ITS 関連に取り組む研究室の合同展示】

【宇野研究室】920MHz を用い信号機のない交差点での出会い頭衝突事故防止システムの研究展示。

【板宮研究室】運転中に津波や洪水に遭遇した様子や対処法をVR/ARで疑似体験。



7. 参加体験企画

(1) 自動運転バス試乗会

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターの協力により、ポートメッセなごや東隣特設会場において、自動運転バスの体験試乗会を実施しました。



○実施スケジュール（21日午前中は関係者のみを対象に実施。）

- 9:30 試乗会出発 1
- 9:45 試乗会出発 2
- 10:00 試乗会出発 3
- 10:30 VOC・保険システム・遠隔操縦デモンストレーション 1
- 11:00 試乗会出発 4
- 11:15 試乗会出発 5
- 11:30 試乗会出発 6
- 12:00 VOC・保険システム・遠隔操縦デモンストレーション 2
- 13:30 試乗会出発 7
- 13:45 試乗会出発 8
- 14:00 試乗会出発 9
- 14:30 VOC・保険システム・遠隔操縦デモンストレーション 3
- 15:00 試乗会出発 1 0
- 15:15 試乗会出発 1 1
- 15:30 試乗会出発 1 2
- 16:00 VOC・保険システム・遠隔操縦デモンストレーション 4

○参加者数（合計400名）

21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)	計
6回	12回	12回	12回	42回
53名	118名	115名	114名	400名

※各回定員10名

(2) 超小型モビリティ試乗会

トヨタ車体の協力を得て、愛知県豊田市内で行われている超小型モビリティのシェアリングサービス「Ha:m」を体験できる試乗会を実施しました。



○参加者数 (合計399名)

	21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)
9:30~10:30	19名	20名	20名	20名
11:00~12:00	20名	20名	20名	20名
13:00~14:00	20名	20名	20名	20名
14:30~15:30	20名	20名	20名	20名
16:00~17:00	20名	20名	20名	20名
合計	99名	100名	100名	100名

※各回定員20名

(3) セーフティドライブ同乗試乗会（モーターショー共催）

衝突被害軽減ブレーキを体験できる試乗会を実施しました。

実施協力：トヨタ自動車、本田技研工業、SUBARU、ダイハツ工業



○参加者数（合計451名）

メーカー	車種	21日 (木)	22日 (金)	23日 (土)	24日 (日)	計	試乗者数
スバル	インプレッサ/ SUBARU XV	14組	28組	28組	28組	98組	166名
ダイハツ	タント カスタム	4組	7組	7組	7組	25組	41名
トヨタ	アクア / カローラ3台	16組	35組	36組	35組	122組	196名
ホンダ	FREED CROSSTAR	4組	7組	7組	7組	25組	48名
		38組	77組	78組	77組	270組	451名

(4) 駐車支援システム体験試乗会（モーターショー共催）

駐車支援システムを体験できる試乗会を実施しました。

実施協力：日産自動車、メルセデスベンツ



○参加者数（合計154名）

メーカー	車種	21日 (木)	22日 (金)	23日 (土)	24日 (日)	計	試乗者数
日産	リーフ	8組	13組	13組	13組	47組	74名
メルセデス	S400d	7組	13組	13組	13組	46組	80名
		15組	26組	26組	26組	93組	154名

(5) スタンプラリー

名古屋モーターショー・ITSワールドエリア内に設置した6か所のポイントでスタンプを集めるスタンプラリーを実施しました。前回は、中学生以下を対象に、ITSワールドエリア内で実施しましたが、今回は、全ての来場者を対象にするとともに、また、名古屋モーターショーエリアにもスタンプを置き、多くの方にITSワールドに来ていただくようにしました。

スタンプを集めた参加者には、ガラポンによる抽選により、賞品を進呈しました。賞品の一部は協議会会員から提供いただきました。

○ラリーポイント設置ブース

- ・ 第2展示館内
- ・ 愛知県ITS推進協議会
- ・ トヨタ自動車
- ・ 第3展示館
- ・ 道路交通情報通信システムセンター
- ・ 中日本高速道路

○賞品一覧（空くじなし）

- ・ 1等 図書カード（5千円分） 4本
- ・ 2等 図書カード（3千円分） 8本
- ・ 3等 図書カード（1千円分） 10本
- ・ 4等 中日本高速道路グッズ 100本
- ・ 5等 VICS各種グッズ 600本
- ・ 6等 トヨタ自動車ミニフラワー 500本
- ・ 7等 粗品



○参加者数（合計 3,860名）

21日(木)	22日(金)	23日(土)	24日(日)	合計
430名	486名	1,538名	1,406名	3,860名

8. 参考資料

(1) 印刷物

ア 出展案内リーフレット (A3 両面印刷 (2つ折り))

会場構成

※出展状況により会場構成が変更になる場合があります。

●1号館
【あいちITSワールド2019】
各種展示、超小型モビリティ試乗等
【名古屋モーターショー】
特設ステージ、一般出展ゾーン

●2号館・3号館
【名古屋モーターショー】
国内外二輪、四輪自動車メーカー、
インポーター出展ゾーン

●屋外
【あいちITSワールド2019】
自動運転バス試乗会、セーフティドライブ体験
【名古屋モーターショー】
最新市販車(四輪)の試乗会、
パーキングアシスト体験、登坂性能体験など

【同時開催】第21回名古屋モーターショー

●主催
中部経済新聞社、東海ラジオ放送、中日新聞社、
中日スポーツ、東海テレビ放送

●展示内容
「第46回東京モーターショー」における
国内・海外自動車、二輪車メーカーなどの
参考出品車・最新市販車の展示など

前頁(第20回名古屋モーターショー)の様子



テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち ITSワールド2019

出展のご案内

カーナビ ETC 公共交通車両優先システム (PTPS) Maas 自動運転

Intelligent Transport Systems

バスロケーションシステム ITS Connect

2019.11.21 ▶ 24 9:00-18:00

会場 ポートメッセなごや 第21回名古屋モーターショー同時開催

主催 / 愛知県ITS推進協議会 中部経済新聞社

交通案内



■公共交通機関
名古屋駅から名古屋駅南高速鉄道(おのびみ)で終点「金城ふ頭駅」下車(約24分)。

■自動車
伊勢湾岸自動車道 名古屋中央ICからすぐ
愛名高速道路 名古屋ICから約60分
愛名高速道路 豊田JCTから約30分
名南自動車道 小牧ICから約30分
愛名東自動車道 四日市JCTから約15分
JR 名古屋駅 約30分
セントレア(中部国際空港)から約40分

■お問い合わせ

【あいちITSワールド2019】運営事務局(中部経済新聞社事業部)
〒450-8561 名古屋市中村区名駅4-4-10名古屋クロスコートタワー17F
TEL:052-561-5675 FAX:052-561-9133

テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち ITSワールド2019

【あいちITSワールド】は、「市民参加」や「ITS体験」を特色とした「ITS世界会議愛知・名古屋2004」の理念を継承し、愛知県がITSの先進県としてさらに発展していくことを目指して2005年にスタートしたイベントで、今回で8回目となります。

ごあいさつ

このたび、愛知県ITS推進協議会(会長:愛知県知事)と中部経済新聞社は、「あいちITSワールド2019」を「第21回名古屋モーターショー」と同時開催いたします。
名古屋モーターショーは約20万人の来場者が集まるイベントであり、皆様がこれまで培ってきたITS関連技術を、一般の方からエンジニアまで、幅広く効果的にアピールできる絶好の機会です。
是非、この機会に出展をご検討くださるようお願い申し上げます。

愛知県ITS推進協議会
中部経済新聞社

開催概要

●会期・開場時間
2019年11月21日(木)~24日(日)の4日間
午前9時から午後6時まで(※最終日のみ午後5時まで)

●会場
ポートメッセなごや(名古屋国際展示場)1号館内
名古屋港区金城ふ頭2-2

●主催
愛知県ITS推進協議会、中部経済新聞社

●後援
(一社)日本自動車工業会、(公社)自動車技術会

●特別協力
特定非営利活動法人 ITS Japan

●来場予定者数
約20万人

●入場料
調整中(モーターショー入場料) ※高校生以下無料

イベント構成(予定) ※一部は名古屋モーターショーとの共催イベントがります。

●展示企画
企業等のITS技術や大学のITS研究の展示、
主催者企画展示(テーマ:「交通事故の防止」、「自動運転」)など

●参加・体験企画
自動運転バス試乗会、セーフティドライブ体験、超小型モビリティ試乗会、スタンプラリー

●ステージ企画
大学生によるITS研究発表

●特別講演会
専門家による最新動向の紹介

展示対象

ITSを中心に、情報通信技術(ICT)を活用し、安全・安心・快適な移動の実現に資するもの(製品・技術・研究など)をご出展いただけます。

- ・ITSの主な開発分野に関するもの
(ナビゲーションシステム、VICS、ETC、安全運転支援、交通管理(UTMS関係)、道路管理の効率化、公共交通の支援(バスロケーションシステムなど)、商用車の効率化、歩行者等支援、緊急車両優先支援)
- ・自動運転に関するもの(3D地図、ダイナミックマップ、センサー、カメラなど)
- ・ICTを活用した新たなモビリティ(サービス含む)に関するもの(IoT、コネクテッドカー関連など)
- ・その他、交通安全対策、公共交通の利便性の向上、災害時の移動支援、スマートシティ関連など安全・安心・快適な移動の実現に資するもの

・上記以外の内容で展示を希望するものがありましたら、運営事務局にお問い合わせください。

展示規模

50小間 (規模:約3,000㎡)

申込方法

出展要領をお読みいただき、出展申込書に必要事項をご記入のうえ、所定の申込み先にファクシミリまたは郵送によりお申し込みください。

申込期限:2019年8月31日(土)

出展内容を来場者にアピール!

ガイドブックを作成します!

名古屋モーターショーとITSワールドを紹介するガイドブックを作成し、来場者全員に配布します!
出展内容を紹介します。出展者のアピールにつなげます!
(タブロイド判、全面多色刷)



【参考】前回(あいちITSワールド2017)の開催状況

●会期・開場時間 2017年11月23日(木・祝)~26日(日)(4日間) 午前9時から午後6時まで	●来場者数 20万5,900人 (名古屋モーターショー入場者数)
●会場 ポートメッセなごや 第1展示館内	●出展社数 35社・団体

イ 出展要領・出展申込書 (A4 両面モノクロ)

テクノロジーが変えるモビリティ、もっと安全・安心・快適に

2019年 月 日

「あいち ITS ワールド2019」運営事務局
中部経済新聞社 事業部
〒450-8561 名古屋市中村区名駅 4-4-10
名古屋クロスコスタワー17F
TEL:052-561-5675 FAX:052-561-9133

出展申込書

「あいち ITS ワールド2019」運営事務局行 (FAX 052-561-9133)

○出展申込者

フリガナ		
貴社名 (団体名)	(印)	
URL		
出展責任者 役職	氏名	(印)
担当者 所属	氏名	(印)
所在地	〒	
連絡先	TEL () - () - ()	FAX () - () - ()
	携帯 () - () - ()	E-mail ()

※ご記入いただいた内容は本イベントの目的以外に使用しません。

○出展料及び小間数

通常ブース(開口6m×奥行3m×高さ2.7m)	1小間単価	小間数	出展料(税別)
一般	210,000円(税別)	小間	円
愛知県ITS推進協議会一般会員	110,000円(税別)	小間	円
小ブース(開口3m×奥行3m×高さ2.7m)	1小間単価	小間数	出展料(税別)
一般	130,000円(税別)	小間	円
愛知県ITS推進協議会一般会員	80,000円(税別)	小間	円

※小ブースは、基本的に1小間のみの申込みになります。

○申込に関する注意事項

- 名古屋消防局の指図により、車両展示を行う場合、車両の周囲は2m以上の空間を確保してください。(車両同士の間隔も2m以上にしてください)
- 9小間以上の申込みは仕切り板(システムパネル)がなく、土間床となります。(1~2小間のご出展の場合は仕切り板をはずすことはできません)
- 追加でシステムパネル/ラベト/パンチカーペット等が必要な場合は、別途有料で施工を承ります。
- 角小間に位置する出展者は、通路に面する仕切り板はあません。予めご了承ください。
- ブースに電源はありません。電気工事は、すべて有料にて承ります。
- 車両を展示する場合は、出展申込書の車両(危険物)の展示に○を付けてください。

○展示予定物(必ず記入してください)

--

○3小間以上小間配列及び連絡事項

--

○車両(危険物)の展示(○印)

有	無
---	---

○使用設備(有料)

- 電源コンセント 光回線 小間内臨時電話 小間内装飾レンタル用品

●事務局欄

受付番号	受付日	小間番号
	月 日	

テクノロジーが変えるモビリティ、もっと安全・安心・快適に

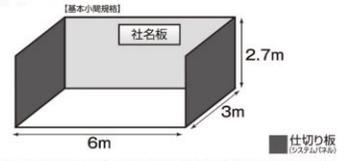
2019年 月 日

「あいち ITS ワールド2019」運営事務局
中部経済新聞社 事業部
〒450-8561 名古屋市中村区名駅 4-4-10
名古屋クロスコスタワー17F
TEL:052-561-5675 FAX:052-561-9133

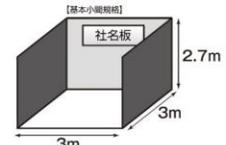
出展要領

○出展料及び基本小間規格

1小間寸法	出展料(1小間あたり)
一般	—
開口6m ×奥行3m ×高さ2.7m	210,000円(税別)
	愛知県ITS推進協議会一般会員 110,000円(税別)



1小間寸法	出展料(1小間あたり)
一般	—
開口3m ×奥行3m ×高さ2.7m	130,000円(税別)
	愛知県ITS推進協議会一般会員 80,000円(税別)



○申込方法

出展申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリ又は郵送にて、下記の出展申込先にお送り下さい。

○申込締切

2019年8月31日(土)
(ただし、予定小間数にない次第、締め切らせていただきます。)

○出展の取消料

申込締切日の翌日から出展説明会の前日まで	出展説明会当日以降
出展料の50%	出展料の全額

○申込に関する注意事項

- 名古屋市消防局の指図により、車両展示を行う場合、車両の周囲は2m以上の空間を確保してください。(車両同士の間隔も2m以上にしてください)
- 9小間以上の申込みは仕切り板(システムパネル)がなく、土間床となります。(1~2小間のご出展の場合は仕切り板をはずすことはできません)
- 追加でシステムパネル/ラベト/パンチカーペット等が必要な場合は、別途有料で施工を承ります。
- 角小間に位置する出展者は、通路に面する仕切り板はあません。予めご了承ください。
- ブースに電源はありません。電気工事は、すべて有料にて承ります。
- 車両を展示する場合は、出展申込書の車両(危険物)の展示に○を付けてください。

○展示物等の搬入(土間渡し分設)と搬出(予定)

出展者搬入日時……11月19日(火)・20日(水) 8:00~22:00
搬出日時……11月24日(日) 18:00~24:00

○出展料支払期限

2019年10月31日(木)

○出展説明会(予定)

2019年10月上旬

○注意事項

- 【展示小間位置の決定】
小間の位置は小間数、出展内容、実演有無などを考慮のうえ、事務局で決定し、出展説明会において発表いたします。
- 【出展に際してのご注意】
本イベントに際しての販売・契約等にあたっては、トラブルを起こさないようご注意ください。トラブルなどが起きた場合、出展をお断りする等の対応措置をとります。
- 【開催の中止】
天災、事故、またはやむを得ない事由によりイベントを中止することがあります。イベント開催前に中止を決定したときに限り、事務局が支払わなければならない諸費用を差し引いた後、残った金額について支払い済み出展料の割合に応じて出展者に返還します。ただし、中止によって生じたいかなる損害に対しても賠償できませんので、ご了承ください。

出展申込先

「あいち ITS ワールド2019」運営事務局
中部経済新聞社 事業部

〒450-8561 名古屋市中村区名駅4-4-10 名古屋クロスコスタワー17F TEL:052-561-5675 FAX:052-561-9133

テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち ITS ワールド 2019

講演会・ステージ企画 参加者募集中

ICT(情報通信技術)の活用により、人やクルマなどの移動をサポートする「ITS」、高度道路交通システム。最新のクルマを展示する名古屋モーターショーと同時に様々なITS技術を紹介します!

講演会・ステージ企画参加者は無料で名古屋モーターショーに入場できます。



特別企画 「自動運転バス試乗会」

ポートメッセなごや東隣 特設会場

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターによる、自動運転バスの体験試乗会を実施します!



【事前申込みが必要です。申込みは愛知県ITS推進協議会ホームページから!】[期限:11月8日(金)]

講演会 **11月21日(木) 11:00~12:00** (定員250名)

「自動車の自動運転への取り組み」



交流センター3F会議ホール

国立大学法人 群馬大学
次世代モビリティ社会実装研究センター
副センター長 **小木津 武樹氏**

ステージ企画 **11月21日(木) 13:00~14:30** (定員200名)

「あいち発! ITS学生研究ライブ2019」



第1展示館 特設ステージ

愛知県内の大学が取り組むITS関連の研究について、これからのモビリティ社会を担う学生がプレゼンテーションします!

開催日時・会場

2019.11.21 ▶ 24 9:00-18:00 (24日は17:00まで)

会場 **ポートメッセなごや 第1展示館内** (名古屋市国際展示場)

第21回名古屋モーターショー同時開催

入場には名古屋モーターショーの入場料が必要です

入場料

1,700円 (前売1,400円)
高校生以下 入場無料

「あいちITSワールド2019」では展示や参加体験企画も開催!
詳しくはホームページをチェック!

「愛知県ITS推進協議会」ホームページ <https://aichi-its.jp/> スマートフォンでもご覧いただけます



22、23日はG20外務大臣会合が開催されるため、交通規制が予想されます。ご来場は、公共交通機関をご利用下さい。

主催 / 愛知県ITS推進協議会、中部経済新聞社 特別協力 / 特定非営利活動法人 ITS Japan 後援 / 一般社団法人自動車工業会 公益社団法人自動車技術会

**テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に**

あいち ITSワールド 2019

講演会・ステージ企画 参加者募集中
申込みは裏面をご覧ください。

ICT(情報通信技術)の活用により、人やクルマなどの移動をサポートする「ITS」、高度道路交通システム。最新のクルマを展示する名古屋モーターショーと同時に様々なITS技術を紹介しします!

講演会・ステージ企画参加者は無料で名古屋モーターショーに入場できます。

特別企画 「自動運転バス試乗会」
群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターによる、自動運転バスの体験試乗会を実施します!
ポートメッセなごや東館 特設会場

【事前申込みが必要です】

<p>講演会 11月21日(木) 11:00~12:00 (定員250名)</p> <p>「自動車の自動運転への取り組み」 国立大学法人 群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長 小木津 武樹氏</p> <p><small>講演の概要は裏面に掲載いたします。</small></p>	<p>ステージ企画 11月21日(木) 13:00~14:30 (定員200名)</p> <p>「あいち発! ITS学生研究ライズ2019」 愛知県内の大学が取り組むITS関連の研究について、これからのモビリティ社会を担う学生がプレゼンテーションします!</p> <p><small>前回の発表の様子</small></p>
--	--

「あいちITSワールド2019」は展示や体験企画も開催!詳しくは裏面をチェック!

2019.11.21(木) ▶ 24(日) 9:00~18:00

会場 **ポートメッセなごや 第1展示館内 (名古屋国際展示場)** (24日は17:00まで)

第21回 名古屋モーターショー一斉開催

主催：愛知県ITS推進協議会、中部経済新聞社 特別協力：特定非営利活動法人 ITS Japan 後援：一般社団法人自動車工業会、公益社団法人自動車技術会

概要

自動運転への取り組み

【講師】 国立大学法人群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター 副センター長 **小木津 武樹氏**

1989年8月7日生まれ。慶應義塾大学経済学部に入学者。同大学大学院経済学・メディア研究科にて修士課程、専攻博士課程修了(博士「労働」)。2014年4月から2016年1月まで東京理科大学工学部機械工学専攻。同年2月から2017年7月まで群馬大学工学部工学専攻。2016年12月から群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長。2017年8月から同大学工学部教授。大学時代から一貫して自動車の自動運転に関する研究に専念。自動車運転の検証実験や実車での実験が多数ある。

展示

- ITS技術の展示**
愛知県ITS推進協議会の会員企業などが、日ごろから開発・研究に取り組んで、ITSの最新技術等を展示。最先端の技術を身近でご覧いただけます。
- 愛知県内の大学によるITS技術などの研究展示**
愛知県内の大学が取り組んでいるITS技術などに関する研究をご紹介します。

■主催者企画展示
交通事故の防止や自動運転に関する愛知県の取組を紹介。VRシミュレーターにより、自動ブレーキなど安全運転支援技術を体験できます(協力:橋)アイロック

■超小型モビリティ試乗会
超小型モビリティ(COMS)の試乗により、乗りたいたときにちょこっと乗るシェアリングサービス「Hamo RIDE(ハモライド)」を体験できます。

■セーフティドライブ体験
踏み間違い防止などの衝突防止支援システムや駐車支援システムを搭載した車両(サボカー)を同乗体験できます。

■スタンプラリー
モーターショー・ITSワールドの会場内に設置されたポイントでスタンプを集めると豪華景品が当たる抽選会に参加できます。

超小型モビリティ試乗会とセーフティドライブ体験は、会場での申込みが必要です。

講演会・ステージ企画 参加申込み(申込期限:2019年11月6日(金)まで(郵送・FAXによる場合必着))

○申込みは「愛知県ITS推進協議会」ホームページ(<https://aichi-its.jp/>)から行っていただく。下記に記入の上、申込先まで郵送又はFAXにお送り下さい。
○先着順に受け付け、会場に無料入場できる参加証を10月下旬から順次送付します。なお、定員に達し次第、申込みの受付を終了します。
○定員に達しご参加いただけない場合、講演会・ステージ企画参加申込事務局から連絡します。

参加希望の企画	<input type="checkbox"/> 講演会 <input type="checkbox"/> ステージ企画	
参加者の氏名	電話番号	【申込先】 「あいちITSワールド2019」 講演会・ステージ企画参加申込事務局 (株式会社)エフエムエフ 〒460-0003 名古屋市中区3-4-18(グランドビルディング) FAX:052-662-7756
参加日の選択		講演会・ステージイベント参加者は無料で名古屋モーターショーに入場できます!
メールアドレス		

※申込みでお知らせしていない内容は、本展覧会の自由参加に準拠します。

あいちITSワールド2019運営事務局(中部経済新聞社 事業部)
TEL.052-561-5675 (平日9:30~17:30)
※お問い合わせは、受付時間内にお電話ください。予めご了承ください。
「愛知県ITS推進協議会」ホームページ
<https://aichi-its.jp/> スマートフォンでもご覧いただけます

入場には名古屋モーターショーの入場料が必要です

入場料 / 1,700円(前売1,400円)
高校生以下 **入場無料**

※中学生・高校生の方は、必ず学生証を提示してください。
※幼児は無料です。

ITSワールド同時開催 (公社)自動車技術会 中部支事 第5回技術講演会
MaaSその現状と可能性 11月22日(金) 13:30~16:50
※詳細は資料をご覧ください。TEL:052-662-7756

22、23日はG20外務大臣会合が開催されるため、交通規制が実施されます。ご来場は、公共交通機関をご利用下さい。

テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち **ITSワールド** 2019

関係者用 招待状 1名様

日時
2019.11.21 **TH** ▶ 24 **SUN**
9:00-18:00
(24日は17:00まで)
※上記期間中1日に限り、1回入場可能。

場所 **ポートメッセなごや**
第1展示館内(名古屋市国際展示場)
※第21回名古屋モーターショー会場内
※あおなみ線「金城ふ頭」駅から徒歩5分<名古屋市港区金城ふ頭2-2>

期間中は周辺道路が大変混雑します。
ご来場は公共交通機関をご利用ください。 

■この招待状をあいちITSワールド2019用特設入口で提示してください。
■招待状の再発行はいたしませんのでご了承ください。

問合せ先
あいちITSワールド2019運営事務局(中部経済新聞社 事業部)
TEL.052-561-5675(平日9:30~17:30)
(11/19以降はTEL.052-398-1910)
※内容・スケジュール等は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。
「愛知県ITS推進協議会」ホームページ
<https://aichi-its.jp/> スマートフォンでもご覧いただけます



最新情報はウェブサイトをご覧ください! ITSワールド 検索

テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち **ITSワールド** 2019

講演会参加証 1名様

講演会
11月21日(木) 11:00~12:00

「自動車の自動運転への取り組み」
国立大学法人 群馬大学
次世代モビリティ社会実装研究センター
副センター長 小木津 武樹氏

場所 **ポートメッセなごや**
交流センター3F会議ホール
※あおなみ線「金城ふ頭」駅から徒歩5分<名古屋市港区金城ふ頭2-2>

期間中は周辺道路が大変混雑します。
ご来場は公共交通機関をご利用ください。 

■この参加証は上記講演会の開催日に限り有効です。また、講演会終了時間以降の入場はできません。
■この参加証をあいちITSワールド2019用特設入口で提示してください。
■会場の受付でこの参加証をお渡しください。
■開始5分前までに必ずお越しください。遅れた場合はお席を確保できない場合があります。
■参加証の再発行はいたしませんのでご了承ください。

問合せ先
あいちITSワールド2019運営事務局(中部経済新聞社 事業部)
TEL.052-561-5675(平日9:30~17:30)
(11/19以降はTEL.052-398-1910)
※内容・スケジュール等は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。
「愛知県ITS推進協議会」ホームページ
<https://aichi-its.jp/> スマートフォンでもご覧いただけます



最新情報はウェブサイトをご覧ください! ITSワールド 検索

テクノロジーが変えるモビリティ。
もっと安全・安心・快適に

あいち **ITSワールド** 2019

ステージ企画 参加証 1名様

ステージ企画
11月21日(木) 13:00~14:30

「あいち発! ITS学生研究ライブ2019」
愛知県内の大学が取り組むITS関連の研究について、
これからのモビリティ社会を担う学生がプレゼンテーションします! **第1展示館 特設ステージ**

場所 **ポートメッセなごや**
第1展示館内(名古屋市国際展示場)
※第21回名古屋モーターショー会場内
※あおなみ線「金城ふ頭」駅から徒歩5分<名古屋市港区金城ふ頭2-2>

期間中は周辺道路が大変混雑します。
ご来場は公共交通機関をご利用ください。 

■この参加証はステージ企画の開催日に限り有効です。また、ステージ企画終了時間以降の入場はできません。
■この参加証をあいちITSワールド2019用特設入口で提示してください。
■特設ステージ前の受付でこの参加証をお渡しください。
■開始5分前までに必ずお越しください。遅れた場合はお席を確保できない場合があります。
■参加証の再発行はいたしませんのでご了承ください。

問合せ先
あいちITSワールド2019運営事務局(中部経済新聞社 事業部)
TEL.052-561-5675(平日9:30~17:30)
(11/19以降はTEL.052-398-1910)
※内容・スケジュール等は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。
「愛知県ITS推進協議会」ホームページ
<https://aichi-its.jp/> スマートフォンでもご覧いただけます



最新情報はウェブサイトをご覧ください! ITSワールド 検索

(2) 新聞記事

11月22日 (金) 中部経済新聞



初日から多くの来場者でにぎわった

「第21回名古屋モーターショー」の会場であるポートメッセなごやでは、初日から多くのモーターファンや家族連れでにぎわった。各ブースでは最新の市販車や次世代のエコカーを多数披露。多彩なステージショーや体験型イベントでも来場者を楽しませた。



インディアン製の新型バイクも注目を集めた



松井雅彦さんがトークショーを展開

高級車に羨望のまなざし



デンソーはAR技術で製品を紹介

次世代エコカーが充実 多彩な体験型イベント

「第21回名古屋モーターショー」初日

「第21回名古屋モーターショー」の会場であるポートメッセなごやでは、初日から多くのモーターファンや家族連れでにぎわった。各ブースでは最新の市販車や次世代のエコカーを多数披露。多彩なステージショーや体験型イベントでも来場者を楽しませた。

11月25日 (月) 中部経済新聞



クルマの未来に 期待感あふれる

オフロード同乗が人気



お礼... 11月22日(金)の第21回名古屋モーターショー... 会場では、最新の市販車や次世代のエコカーを多数披露...

名古屋モーターショー閉幕

名古屋モーターショー閉幕... 会場では、最新の市販車や次世代のエコカーを多数披露...

11月20日 (水) 中部経済新聞

第21回名古屋モーターショー

Advertisement for the 21st Nagoya Motor Show, including details on dates, location, and ticket information.

中部経済新聞社

